

第 16 回アジア感染症対策プロジェクトオンライン会議
報告書

令和 4 年 1 月 17 日(月)～2 月 28 日(月)

開催概要

◆名称：第16回アジア感染症対策プロジェクトオンライン会議

◆日時：令和4年1月17日(月)～2月28日(月)

質問受付期間：令和4年1月17日(月)～2月14日(月)

◆主催：東京都

◆参加都市：バンコク、マニラ首都圏、ソウル、台北、東京都

感染症対策担当者等 90名

◆オンライン会議 URL：

<https://event.on24.com/wcc/r/3573604/01B97988F2BF08EFA0205B50925E0250>

The screenshot displays the CCIDA16 event website interface. At the top left, the text 'CCIDA16' is prominently displayed. Below it, a large banner features the 'CCIDA16' logo and the subtitle '16th Conference on Countermeasures to Combat Infectious Diseases in Asia'. To the right of the banner, there are two green boxes: one with contact information for the secretariat (ccido16@id-corp.co.jp) and a 'Send email' button, and another with a 'Click' button for viewing problems. A 'What's New!' sidebar on the right lists updates for Feb. 26th, Feb. 18th, and Feb. 17th. The main content area is a grid of five city-specific panels, each with a flag, city name, a primary topic, a secondary topic, and a 'Watch Now' button. The cities shown are Bangkok, Metro Manila, Seoul, Taipei, and Tokyo. At the bottom, a row of seven smaller panels shows flags and city names for Delhi, Hanoi, Jakarta, Kuala Lumpur, Singapore, TomsK, and Yangon.

本会議開催の趣旨

アジア感染症対策プロジェクトは、アジア大都市に共通の課題となっている感染症対策について、各都市が連携して取り組むことを目的としており、専門家間の恒常的で強固なネットワークの構築及び共同での調査・研究の実施を事業内容としています。同プロジェクトにおいては、各都市衛生主管部局の感染症対策の担当者による会議（「アジア感染症対策プロジェクト会議」）を、毎年、参加都市が持ち回りで開催しております。

令和3年度は、令和2年から引き続き新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりを受け、参加都市それぞれの現状や課題、対策を共有することで、各都市の感染症対策のより一層の向上を期待し、東京都が事務局となりオンラインで開催いたしました。

発表内容

バンコク

「新型コロナウイルス感染症危機の対応策： バンコクモデル」

- ・ 娯楽施設等での感染爆発に始まり、様々な職種で感染が拡大。クラスターは、「建設現場・作業員宿舎」「工場又は会社」で特に多く発生。
- ・ 建設現場等で感染が拡大した際は現場の一時閉鎖を発表し、「*バブル・アンド・シール（定期的かつ無作為な検査実施による感染の早期発見と、陽性者の速やかな隔離による拡大防止）」を実施。

* 参考リンク <https://www.jetro.go.jp/biznews/2021/08/4977d9874e8776a7.html>

- ・ 社会的対策（エリア/交通ごと等）、個々のグループへの対策等から、感染爆発の抑制。
- ・ 症状、リスク群に応じ、自宅隔離から入院治療まで4つのカテゴリで陽性者を管理。
- ・ 寝たきり患者へのワクチン接種プログラムや、移動ワクチン接種班を設置して脆弱グループ・高齢者・ホームレス・妊婦等へのワクチン接種を促進するなどの取組を実施。

マニラ首都圏

「新型コロナウイルス感染症に対する PHAP ケア財団での取り組み」

- ・ 新型コロナウイルス感染症警報レベルを5段階で設定。
- ・ 感染症指定病院に使用する医療用品調達に係るキャンペーンを実施。
- ・ ワクチン接種へのためらいを解消するため、オンラインセミナーを実施。
- ・ 国内の感染症関連事案に対応することを目的として2014年に設置されたIATF（フィリピン省庁間タスクフォース）が、ワクチン接種に関する国内レベルの調整協議会として機能。

ソウル

「新型コロナウイルス感染症の総括報告－ソウル－」

- ・ KI-Pass（電子出入名簿、公共施設や大規模商業施設等への出入記録を管理するアプリ）により、新型コロナウイルスワクチン接種証明書と連携した QR コードを発行。
- ・ 在宅治療時は、自治体による支援物資の手配と隔離管理（10日間）、医療センターによる健康管理（7日間）が行われる。また、自治体主導型の他に、医療機関主導型の在宅医療もある。
- ・ 在宅医療にオンラインツール（治療支援システム、ビデオ通信等）を活用。
- ・ 保護者、同居者の隔離区分を分類。
- ・ 3回目のワクチン接種にジョンソンエンドジョンソン社を使用。
- ・ ワクチン接種後の防疫パスを導入。
- ・ ワクチンによる有害事象の迅速対応システムを構築し、因果関係の評価を5段階で分類。

台北

「新型コロナウイルス感染症時代の HIV/AIDS：台北市の対応」

2021年7月に HIV 陽性者集団からクラスターが発生したことを受けて以下の対策を実施。

- ・ 社会的弱者（男性間性交渉者）を対象とした接触者の追跡。
- ・ 無料の家庭用新型コロナウイルス感染症検査キットを配布。
- ・ 新型コロナワクチン接種率の向上。
- ・ LGBT に配慮した対応に関する医療従事者の教育。

東京

「東京都の新型コロナウイルス感染症対策

共同調査研究(新型コロナウイルス感染症に関するリスクコミュニケーション)

東京 2020 大会における新型コロナウイルス感染症対策」

- ・ HER-SYS (Health Center Real-time Information-sharing System)の導入により、基礎情報から症状や行動歴まで、感染者の情報を一元的に管理、関係者間で共有。
- ・ 症状はないけれども不安を感じる人向けの「新型コロナコールセンター」と、発熱等の症状が生じたがかかりつけ医がいない、又は夜間等でかかりつけ医が開いていないといった方向けの「東京都発熱相談センター」の2つを運営し、都民の不安の解消に努め、PCR検査も最大で1日約9.7万件を実施できるように体制を整えた。
- ・ ワクチン接種については、東京都ではまず医療従事者等を優先的な接種対象として2021年3月から実施。その後、65歳以上、64歳以下と段階的に対象者を広げていき、2021年12月6日時点で2回目の接種まで終えた人の割合は、接種対象者である12歳以上で82.5%、70代以上では90%を越えた。
- ・ 都内在住外国人に対して、新型コロナウイルス感染症に関する効果的な情報発信及び収集方法を検討することを目的として調査を行い、学校や職場、住居の環境など、対策の実施を妨げている要因に着目して、施設の管理者等に調査を行い、外国人のさらなる感染予防の向上を目指す。
- ・ 第5波の中、行われた東京2020大会を、安全・安心な大会とするため、来日大会関係者数を大幅に縮小するとともに、水際対策及び滞在期間中の検査を徹底。
- ・ 大会期間を通じて、1日あたり平均約14,000件(1日あたり最大36,225件)のスクリーニング検査をアスリート等/大会関係者に対して実施。

会議参加者名簿(プレゼンター)

バンコク

氏名	所属等
Ms. Veeranuch Naowasak	外務部職員
Dr. Thitisant Palakawong Na Ayuthaya	医学博士
Ms. Supunnee Jirajariyavej	感染症専門医
Ms. Sarin Khahakaew	感染症専門医
Mr. Prat Pairattanakorn	感染症専門医
Dr. Paveena Angkhananukit	医学博士
Dr. Pailin Phupat	医学博士
Mr. Kanthon Chaloej	感染症専門医
Dr. Gun Wongpanich	医学博士
Dr. Chantapat Brukesawan	医学博士

マニラ首都圏

氏名	所属等
Dr. Maria Rosarita Quijano-Siasoco	PHAP ケア財団執行役員
Mr. Dennis Romerick Tuazon	PHAP ケア財団プロジェクトマネージャー

ソウル

氏名	所属等
Dr. Haesook Seo	ソウル感染症研究センター長

台北

氏名	所属等
Dr. Lian-Yu Chen	台北市立総合病院 KPCC(昆明予防管理センター) 主任
Dr. Huang Shier-Chieg	台北市保健局 局長

東京

氏名	所属等
根岸 潤	東京都 福祉保健局 感染症対策部 エイズ・ 新興感染症担当課長
林 芳武	東京都 福祉保健局 感染症対策部 防疫・情 報管理課 課長代理
月山 陽輔	東京都 福祉保健局 感染症対策部 防疫・情 報管理課 主任